

八街市協働のまちづくり検討会 分科会最終報告

平成27年 1月 9日

第5分科会（経済・産業・観光）

第5分科会では、経済・産業・観光をテーマに議論を重ねてきました。これまでの会を重ねた中では、市の基幹産業である農業を中心に、商業・観光について、より多くの時間をかけてきたところです。そして中間報告を踏まえ、改めて『協働のまちづくり』のアイデアを出し合ったところです。

◎現状と課題

【農業】

本市の農業は畑作が中心であり、露地・施設において様々な農作物が作られています。主な農作物は落花生、里芋、生姜、人参、西瓜をはじめ、トマトや白菜など、四季を通じて様々な農作物が作られており、都市圏や空港に近いことから、県下でも有数の農産物の供給源といえます。

しかし、安価な輸入農産物の流通による価格の低迷や農産物に対する消費者ニーズの多様化など、農業経営を取り巻く環境は厳しさを増しており、また農業従事者の高齢化や後継者の減少、それに関係して遊休農地の増加といった、深刻な問題に直面しています。

本市では担い手となる後継者及び新規就農者に対しての育成と確保に対しての支援、農用地の利用集積及び斡旋等の事業を実施している。

○課題

- ・ 農業従事者（後継者及び新規就農者）の確保と育成
- ・ 遊休農地の解消など農用地の維持・保全
- ・ 農産物の低価格への対応
- ・ 消費者ニーズへの対応
- ・ 砂ぼこり対策

↓↓

○課題に対するアイデア

- ・ 「農業の担い手の確保・育成、農地の維持・保全、遊休農地の解消」
 - 耕作放棄地や遊休農地を、営農意欲のある方に貸す。
 - 本市で農業をやってみたいという方を受け入れ、農地を斡旋するなどして、農業後継者として育成する。
- ・ 「農産物の価格の低迷への対応」
 - 八街産野菜をブランド化する。
- ・ 「砂ぼこり対策」
 - 砂ぼこりは季節的な作付けに起因する部分が大きいため、小麦などを作付

けする。

【商業・観光】

八街駅周辺では昔なじみの商店街があり、また幹線道路（国道・県道）沿線では郊外型の大型チェーン店が出店しているなど、賑わいを見せていました。

しかし、近年の景気低迷や消費者ニーズの多様化等により、賑わいに陰りが見られ、商店街ではお客の減少、空き店舗の増加といった現状であり、また、それに伴うかのように商店街は分散化しており、まとまった駐車場や歩道等の整備ができていない現状です。

整備が整っていない現状は観光においても同じ事が言え、落花生やブルーベリー、サツマイモ等の収穫体験といった観光農業はあるものの、本格的な受け入れ体制が整っておらず、また情報発信といったPRに乏しく感じられる。

本市としては、アンテナショップ「ぼっち」や「ぶらんみなみ」の支援、商店街内の街路灯の補助等の駅周辺・商店街の支援を実施しており、また商店街としても空き店舗を利用したの休憩施設兼ギャラリーの運営、消費者ニーズの多様化への対応として宅配事業の実施など駅周辺・商店街の活性化に取り組んでいる。

○課題

- ・八街駅周辺の活性化
- ・多様化している消費者ニーズへの対応
- ・空き店舗の活用
- ・観光資源の把握

○課題に対するアイデア

- ・「八街駅周辺の活性化」
 - 駅前公園を使ったイベントの開催
- ・「多様化している消費者ニーズへの対応」
 - ソフト面では、高齢者への対応として宅配事業の実施
 - ハード面では、駐車場や歩道等の整備による、食べ歩きができるような商店街整備
- ・「空き店舗の活用」
 - 商店街内の空き店舗を活用した保育施設等の子どもに関連した施設
- ・「観光資源の把握」
 - 市民（学校、地域等）との協働による観光資源の掘り起こし及び観光マップやホームページの作成。

◎協働のまちづくりのアイデア

- ①地域における取り組み方法
- ②行政における取り組み方法
- ③市民と行政との関係を充実させる取り組み方法

・ふるさと納税の利活用

既にふるさと納税の制度は導入され、活用していただいた方には、お礼の品として八街市の特産物である落花生、今年は夏限定でスイカを贈ったところです。今年は、これまでより大きな反響があったと聞いています。八街市の特産物はやはり落花生ですが、スイカや里芋、人参、生姜等の野菜も特産物であります。落花生だけでなく、JAや商工会議所の協力を得て、四季に合わせた野菜をメニューに入れて八街市の（特産物の）PRをすると共に、市外の方からの支援をまちづくりに活用していく。

・産業まつりでの料理コンテストからのB級グルメの創作

産業まつりにおいて、昨今では市の特産野菜を使用した料理コンテストが開催されており、様々な料理が出品されました。そこで出品された料理は、そのレシピが広報にて情報提供として紹介されたところです。それで終わるのではなく、八街市特産の野菜を使って市民が創作した料理ですので、出品者の協力を得て北口市への出品や料理教室の開催、学校給食への活用等を踏まえて、店頭販売に繋げていくことでB級グルメを創作していくと共に、八街市をPRしていく。

・観光マップの作成

行政と市民（学校、地域等）との協働による市の観光マップを作成する。協働で作成する事で、観光資源を互いに再認識すると共に、互いの視点での掘り起こしをする。出来上がったマップは紙だけでなく、市のホームページにも掲載して利用できるようにする。できれば学区単位で作成することもいいのでは。

・八街市スタンプラリー

市内では観光農業として落花生やブルーベリー等の様々な収穫体験が実施されています。八街市観光マップを利用し、各観光農園あるいは作物毎で収穫体験してもらおう事でスタンプを集め、景品に応募できるスタンプラリーを開催する事で八街市のPRをする。